

ともに

09

2020年
冬号

特集

子どもの笑顔を守る 小児外科と小児病棟

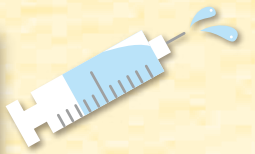
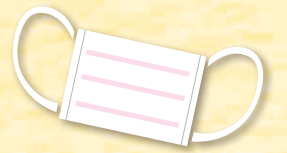


市民とともに心ある医療を

地方独立行政法人 市立吹田市民病院は「市民とともに心ある医療を」の基本理念に基づき、急性期医療や高度医療、救急医療を中心に、吹田市の中核病院として、質の高い安全な医療の提供に努めています。それらの取り組みを、広報誌「ともに」を通じて市民の皆さまにお伝えいたします。

子どもがかかりやすい

感染症を予防しよう！



冬にかかりやすい感染症は何ですか？

特にインフルエンザとノロウイルスによる感染性胃腸炎が流行します。また、ロタウイルスやRSウイルスによる感染症にも注意が必要です。



それぞれの感染症の特徴はありますか？

インフルエンザは発熱、頭痛、関節痛、のどの痛みなどが主な症状になります。RSウイルスは発熱や咳、鼻汁が見られますが、多くは軽症です。しかし、どちらも小さなお子さまがかかると重症化する可能性があるため、自己判断をせずに早めに医療機関を受診することが大切です。ノロウイルスやロタウイルスによる感染症は嘔吐や下痢が主症状です。ロタウイルスは便が白っぽいのが特徴です。



家族間での感染を防ぐためには？

インフルエンザは咳やくしゃみ等で飛び散る飛沫で感染するのでマスクの着用が効果的です。ノロウイルスは嘔吐物や便の処理をする際に使い捨て手袋やマスクを着用しましょう。また、汚れた環境は、使用時の注意事項を確認した上で、次亜塩素酸塩を使って消毒しましょう。どの感染症であってもできるだけ共用のものを使用しないことが必要です。

お子さまはもちろん、
ご家族みなさんの
こまめな手洗いが
大事です！



感染管理認定看護師
中田淑子



子どもの救急ガイド

病院に行った方がいい？ 救急車を呼んだ方がいい？ 困った時は

子どもが夜中や休日に、発熱やけいれんなどの症状が出ると、とても不安なものです。そんな時は電話相談や小児救急支援アプリをご利用ください。

明らかに緊急を要する
場合は**119番**を



子ども救急電話相談事業

☎ #8000 または ☎ 06・6765・3650 (大阪)
【受付時間】20:00～翌8:00

小児救急支援アプリ

スマートフォンのアプリが、子どもの突然の病
気やケガの緊急度の判断、病院情報の検索を
お手伝いします。

小児救急支援 検索

夜間・日曜・祝日等は以下の医療機関が 診療を行っています

2020年1月現在

市立吹田市民病院

来院される際にはお電話ください
☎ 06・6387・3311

平日(月～金のうち祝日を除く)
【受付時間】17:00～19:00

土曜(祝日を除く)
【受付時間】9:00～14:30

祝日(日曜を除く)
【受付時間】9:30～16:30

火・水・木・日曜
【受付時間】7:00～9:00



吹田市立休日急病診療所
(吹田市出口町19-2 4階
☎ 06・6339・2271)

日曜・祝日・休日・年末年始
(12/29～1/3)
【受付時間】9:30～11:30、
13:00～16:30

豊能広域こども急病センター
(箕面市萱野5-1-14
☎ 072・729・1981)

平日(月～金のうち祝日を除く)
【受付時間】18:30～翌6:30

土曜(祝日を除く)
【受付時間】14:30～翌6:30

日曜・祝日・休日・年末年始
(12/29～1/3)
【受付時間】8:30～翌6:30

小児病棟 笑顔で過ごせる工夫がいっぱい

入院中は担当看護師が中心となり、お子さまの看護にあたります。医師は24時間態勢で診療を行います。緊急入院や夜間の入院が多いため、できるだけストレスを和らげ、笑顔で過ごせるよう、治療・看護に最善を尽くしています。小児病棟はお子さまが楽しめるデザインで、プレイルームやバルコニー、小・中学校の院内学級などがあります。



プレイルーム



たくさんのおもちゃや絵本を準備しています。

病室



院内学級



一人ひとりの病状に応じた基礎学力の充実を目指します。

ぬくもりのある病棟で、 お子さまとご家族をサポート

元気に退院できるように全面的にサポートしています。お子さまが病気になるご家族も疲労が重なります。そのためご家族のお話をしっかりと聞いて、相談に乗りながら一緒にお子さまを見守り、看護をしています。また、子ども好きのスタッフが多く、心を込めたイベントを開催するなど、ぬくもりのある雰囲気づくりを心掛けています。



小児病棟 看護師長
内藤こずえ

市立吹田市民病院の

子ども医療

市立吹田市民病院の小児科では、感染症や川崎病、てんかんなどの神経疾患、ぜんそく、食物アレルギー、成長障害などさまざまな疾患に対応しています。地域の医療機関(クリニック)からの診察・入院依頼にいつでも応えられる態勢を整えており、協力してお子さまの診療にあたっています。また、二次救急(入院などが必要な疾患)の輪番病院として、週に4日、夜間の入院に対応しているほか、食物アレルギーのテストを行う「経口負荷試験」の日帰り入院や、夜尿症(おねしょ)診療にも力を入れています。

地域のかかりつけ医の先生から頼りにしていただける小児科を目指しています。



小児科診療局長
松崎香士

小児科主任部長
板垣裕輔

いざという時、
頼りになるわね



小児科 (アレルギー)

乳幼児湿疹、アトピー性皮膚炎、食物アレルギーなどを診療しています。

小児科 (神経疾患)

熱性けいれん、てんかん、神経筋疾患などに対応しています。

小児外科

新生児から思春期までを主な対象としています。

小児外科ってなあに？

小児外科は新生児から思春期(15歳ごろ)までを主な対象とした外科治療を行います。小さく脆弱な体の子どもの手術は大人の手術よりも繊細な手術器具や技術が必要です。子どもはこれから心も身体も成長、発達していきます。手術によって残る傷痕でその成長と発達に影響が出ないように、できるだけ手術の傷が小さくなるような手術方法を取り入れています。

主な対象疾患

鼠径ヘルニア(脱腸)、陰嚢水腫、急性虫垂炎(盲腸)、臍ヘルニア、停留精巣、肛門周囲腫瘍

※鼠径ヘルニアや陰嚢水腫など、体への負担が軽く短時間で終わる手術を対象に、日帰り手術を導入しています。原則として以下の条件を満たす必要があります。

○1歳以上 ○大きな合併症がない ○自宅から1時間以内

【外来日】火曜日・木曜日<午後> ※予約制

安心かつ安全な手術で子どもへの影響を軽減します



小児外科医長 田中夏美

市立吹田市民病院の小児外科は2019年4月に開設しました。鼠径ヘルニアや臍ヘルニアなど、手術が必要となる幅広い疾患を対象としています。お子さまに手術が必要となるとご家族はとても心配されますので、手術の方法などを丁寧に説明し、理解してもらうよう心掛けています。

当院では、手術の傷が小さい腹腔鏡手術を採用するなど、子どもの心のケアにも配慮しています。麻酔科とも連携し、手術後の痛みを軽減する工夫も行っています。また、子どもは入院するだけでストレスを感じるため、短時間で終わる手術については、日帰りでの手術を導入しています。

お子さまとご家族の不安を取り除き、安心して手術を受けていただけるよう、常に万全の体制を整えています。お子さまに心配な点があれば、かかりつけ医を受診後、紹介状をご用意の上、受診してください。



お部屋には
どうぶつさんが♪
お部屋を覚えやすいね



イベントいろいろ

ハロウィン



季節を感じる
イベントたくさん♪



クリスマス



季節に合わせたイベントや
絵本の読み聞かせをしています。

小児病棟では
どのようなことを
心掛けていますか？

